

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨と基本理念	1
第2章 計画について	4
1. 計画の法的根拠と位置づけ	4
2. 策定体制と計画期間等	6
第3章 障がい福祉を取り巻く状況	9
1. 統計からみる現状	9
2. 各種調査結果	14
3. 主な特性や課題について	25
第4章 成果目標と障害福祉サービス等の見込量	28
1. 成果目標（サービス提供体制の達成目標）	28
2. 活動指標（成果目標達成のために必要なサービス等の見込量）	37
第5章 サービスの円滑な提供のための取組	56
1. 相談支援ネットワークの推進	56
2. ケアマネジメントの仕組みづくり	56
3. サービスの質向上に向けた取組	57
4. 利用者の権利擁護	58
5. 障害福祉分野の人材の確保・育成	58
第6章 計画の推進と評価	59
1. 計画の推進と評価	59
資料編	61

■障害者の「害」の表記について

本計画書では、障害者の「害」の表記について、「障害」という言葉が単語あるいは熟語として用いられ、前後の文脈から人や人の状態を表す場合は、「害」の字をひらがなで表記することとしています。ただし、法令の題名や固有名詞等で「害」を漢字で表記しているものは、漢字のまま表記しています。